

自動運航船の実現に向けて

(自動運航船プロジェクトチームの紹介)

Autonomous Ship - A Solution of Sustainable Future

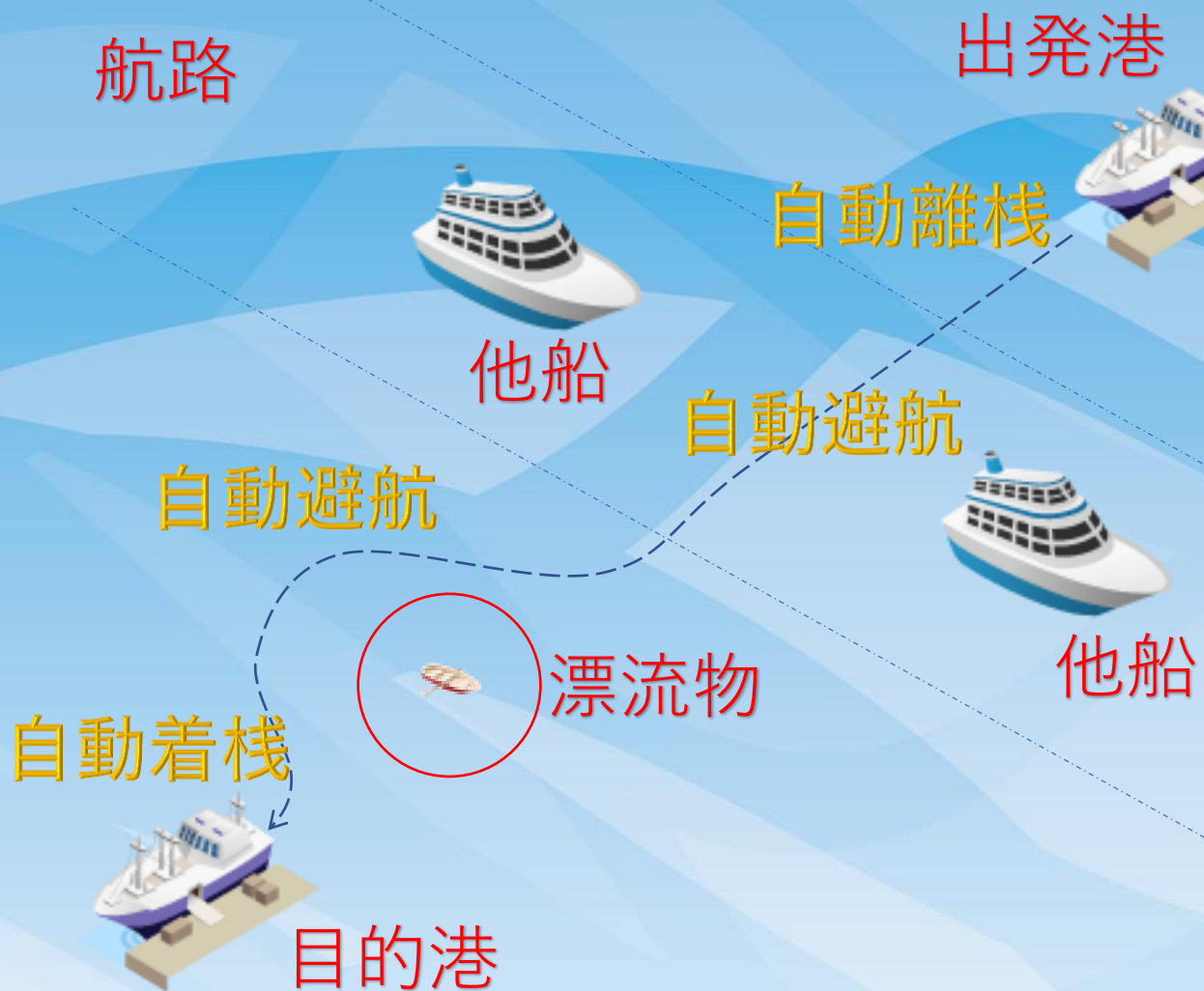


研究の背景と概要

国土交通省は2016年からi-Shipping (Operation) として、IoT技術やビッグデータ解析を活用した船舶、船用機器に対する技術開発支援を開始し、2025年までに自動運航船の実用化を目指している。

この事業に貢献するため、自動運航船を実現する上で不可欠なリスクベースの安全性評価技術確立すると共に、自動避航、自動離着岸等の関連技術を開発して社会実装することを任務として、当所は、2020年3月に自動運航船プロジェクトチーム(当PT)を立ち上げた。

当PTは、当PT内の取り組み、又は、当PT外の取り組みを統合した戦略とビジネスモデルを立案することで、成果の社会実装を駆動する。



自動運航のイメージ
Image of Autonomous Navigation

【研究目標】

自動運航船を実現するための戦略とビジネスモデルの立案

Planning strategies and business models for realizing autonomous ships



国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所

〒181-0004 東京都三鷹市新川6丁目38番1号 Phone: 0422-41-3005

本印刷物からの無断転載を禁じます。© 2019 MPAT NMRI

No part of this material may be used or reproduced in any manner without a prior written permission of National Maritime Research Institute.